

【資料2-3】

(案)

リスクアセスメントに関する調査について

平成29年6月19日修正

○概要

各団体が実施しているリスクアセスメントの実施方法等について実態調査を行い、結果を集計、分析し、共通事項としてとりまとめが可能な事項を洗い出し、実態調査の概要（RAの実施手法、業界ごとの違い、個社内における主体的作業の違いによる特徴など）としてとりまとめる。

併せて、標準化に向けた検討を実施するためスケジュールを決定する。

設備点検等基準については、厚労省の委託調査事業に協力する。

○調査対象（以下、RAの調査）

SWGメンバー団体の会員企業であって製造業の事業場（規模50人以上）

※有効回答数（集計対象数）を500事業場（回収率30%程度と想定）

○調査の方法

SWGメンバー団体を通じ、実態調査を行う。

具体的には、

① 第1回サブWG（6月19日）：実態調査の調査項目について議論

調査方法、調査項目の検討・決定（素案に基づき議論）

6月下旬

SWG事務局から各団体あて調査の依頼（e-mail）

→各団体から会員企業あて調査の依頼（e-mail等）

→会員企業から各事業場あて調査の依頼（e-mail等）

※調査票はExcel（マクロは使用していません）で作成されており、

PC上でチェック欄等に必要な入力を行える様な仕様としています。

7月下旬

各事業場から会員企業あて調査回答（e-mail等）

※ 事業場（企業）が複数の団体の会員とされている場合、当該複数の団体からそれぞれ調査依頼が届く場合がございます。この場合は、いずれか一団体のみにご回答いただきます。

→会員企業から各団体あて調査回答（e-mail等）

（調査票の提出とともに、調査票の依頼数と回答数の報告）

→各団体からSWG事務局あて調査回答（CD/DVD）

（調査票の提出とともに、調査票の依頼数と回答数の報告）

締切7月21日（金）

7月下旬

SWG事務局にて集計（単純集計）、とりまとめ

② 第2回サブWG（8月8日13:30～）：実態調査結果について議論

実態調査結果（単純集計結果）を踏まえ、業界、作業の違い等を検討する。

③ 第3回サブWG（9月中旬以降） ← 9月11日AMで調整中。

リスクアセスメント手法の標準化に向けへ検討すべき事項と、今後のスケジュールを検討する。

アウトプット（全国産業安全衛生大会まで）に向けて必要な検討を行う。

【アウトプット（全国産業安全大会まで）のイメージ】

- 1 リスクアセスメントの実施方法等について実態調査結果の概要のとりまとめ
- 2 リスクアセスメント手法の標準化に向けて検討すべき事項と、今後のスケジュール